

つくばローカルコミュニティはリサイクルショップではありません

当店は筑波大学OBのみで運営する学生向けサービスショップであり、リサイクルショップではありません。リサイクル市は毎回 200万円ちかい赤字をだす超不良部門ですが、以下のような経緯で現在も活動を継続しています。

リサイクル市の起源

リサイクル市(以下リサ市)は元々生物資源学類の新入生歓迎イベントとして始まりました。活動は、
①新入生の経済的な負担の軽減 ②エコっぽい活動で‘資源’のアイディティを示すこと
が目的で、卒業生の引越作業を手伝う対価として貰った家具家電を新入生に無料提供していました。

筑波大学との関わり

リサ市は学類内で大人気となり、多くの新入生に喜ばれることに気を良くしたスタッフが全学規模でリサ市開催を大学に提案しましたが以下の理由で活動は認められませんでした。

①学内に倉庫がない ②学外で倉庫を借りる場合学生による商行為となり、許可できない

この結果を受け、活動拠点を学外移し、リサイクルショップのような形態でリサ市を継続してきました。その間、大学の側には「学内でのリサイクル活動実施」や「リサイクル拠点を作るための提案書の提出」等の働きかけを行いましたが、今までに得られた回答は全代会による「全代会としてリサ市を認めることはできないが、各学類が個別に対応するのを止めはしない」というものだけです。

無料提供に踏み切った訳

リサ市の活動が10年を超え、多くの実績を残したにも関わらず大学への働きかけは「学外団体である」との1点で交渉窓口すら設けられませんでした。学内リサイクル環境に改善の兆しも見えない状況の中、一部の学類の新歓委員が「学類独自の判断」でリサ市への協力を申し出てくれました。有料での活動を実施という案もありましたが、協力してくれる学生に万が一にも迷惑をかけること(リサ市への協力を「学生が学内で営利活動の補助を行っている」と見なされる可能性がある)はできないとの立場から非営利性を確保するために無料提供に踏み切りました。学内のリサイクル・リユース環境が整う(もしくは店が苦しくなる)まで維持していく考えです。

TSUKUBA

local Community

[電話] 029-860-4040

[営業時間] 13:00~18:00 (日曜定休)

※ 引取業務は定休日を含む営業時間外で行っています

※ 3月末は店舗営業を行わず全時間帯で引取を行うこともあります
お電話は携帯に転送され担当スタッフが対応します(作業時など
電話に出れない時は後ほどこちらからコールバックします)

